

令和2年度

## 土浦エコパートナー事業実績報告書

(報告先) 土浦市長

名 称 株式会社 ジョイフル本田

所在地 土浦市富士崎一丁目16番2号

### 具体的な取組事項

項 目	具 体 的 内 容
省エネや地球温暖化対策活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・荒川沖店ガーデンセンターの受変電設備を更新 経年機器2基を省エネタイプ機器1基に統合して更新</li><li>・不用時の照明消灯 随時実施(社員用トイレ、事務所、食堂等)</li><li>・空調温度調節 冬暖房20℃・夏冷房25℃に設定。屋外照明は季節に合わせてON・OFFタイマー時間を細かく設定。</li></ul>
公害や汚染の防止, ゴミの削減, リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・不要な土の回収、再生を継続 販売した用土の空き袋(指定あり)にて随時回収実施</li><li>・オフィスのペーパーレスの推進 会議資料のPDF化 決裁文書のPDF化とPC決裁クラウドの導入</li><li>・分別収集の強化および段ボール・金属・木材のリサイクルを継続 産廃管理に専属人員を配置し、産廃を減量(約2t減 前年比15%減)</li><li>・家電リサイクル、消火器、車バッテリー等の回収啓発を継続実施</li></ul>
地域社会の環境保全のための取組 (例: ゴミ拾い, 敷地内緑化, 景観の保護, 里山の保全)	<ul style="list-style-type: none"><li>・市の小型家電リサイクルボックス設置アピール、回収を啓発 回収品と関連の強い家電コーナーへリサイクルBOXを設置</li><li>・町内清掃行事への参加 コロナ過で令和3年度は中止</li><li>・財団法人 霞ヶ浦水質浄化推進振興財団への協力継続</li></ul>
社員への環境教育や啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴミの分別、減量化および店舗周辺美化の意識教育 定期的な店舗周りの清掃、雑草処理を実施。</li><li>・クールビズの推奨 制服をポロシャツに変更</li><li>・切り花販売時の簡易包装化を指導・教育 新聞包装のセルフ化をレジ係から説明させ、顧客に理解を求め、約7割は包装省略でお持ち帰りいただいた。</li></ul>

項 目	具 体 的 内 容				
その他（アピール事項など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコバッグ推奨（レジ袋削減）の取り組み強化 セルフサッキングへ完全移行によりレジ袋大幅削減 (9割がレジ袋不要、年間 2530 万枚減、前年比 87%減) 当社オリジナルエコバッグの販売 (2020/6/10 発売～5/9 までで、小 212 枚・大 394 枚)</li> <li>・マイクロプラスチック削減のため、販売商品についても過剰なプラスチック包装でないものを推奨 日用消耗品・飲料等のパック商品（店舗で複数にまとめてパックし販売）をすべて廃止。ビニール袋の使用を大幅削減</li> <li>・GHG排出量削減 子会社2社を吸収合併したため、荒川沖エリア内の旧子会社の店舗（ジョイフル2、ジョイフル本田リフォーム）について当社の床面積に算入した。これにより旧子会社部分の GHG 排出量が加算されましたが、業務用電力契約を東京電力から CO2 換算値がより低い出光興産へ変更したことで、2013 年度比、前年度比ともに減少した。</li> </ul>				
	GHG (CO2) 排出量				
	CO2排出量推移				
		年度	2013	2019	2020
	事業所		h25	R1	R2
	荒川沖店	CO2排出量 (t/CO2)	1619	1281	1164
		2013年度比		-20.9%	-28.1%
		前年比		-8.8%	-9.1%
		延床面積 (㎡)	26,554	26,930	31,759
		排出量原単位 (t/㎡)	0.06097	0.047568	0.036651
		2013年度比		-22.0%	-39.9%
		前年比		-8.3%	-22.9%
	本社	CO2排出量 (t/CO2)	191.4	143	115
		2013年度比		-25.3%	-39.9%
		前年比		-10.1%	-19.6%
	延床面積 (㎡)	2,622	2,822	2,822	
	排出量原単位 (t/㎡)	0.072998	0.050673	0.040751	
	2013年度比		-30.6%	-44.2%	
	前年比		-10.1%	-19.6%	